

平成30年第 3 回川崎市議会定例会

請 願 陳 情 文 書 表

(その1)

請 願 文 書 表

受理番号	受理年月日	件 名	請 願 提 出 者	紹 介 議 員	要 旨	付託委員会
48	30. 9. 5	旧稲田登戸病院跡地の 川崎都市計画生田緑地 区域編入に関する請願	多摩区 東生田町会連絡協議 会	廣 田 健 一 菅 原 進 露 木 明 美 斉 藤 隆 司 三 宅 隆 介 小 田 理恵子 月 本 琢 也 添 田 勝 佐 野 仁 昭	旧稲田登戸病院跡地を川崎都市計画生田緑地 の区域に編入することにより、当該地を緑地と して整備かつ保全し、地域周辺の環境向上をし ていただきたい。	まちづくり 委員会

陳 情 文 書 表

受理番号	受理年月日	件 名	陳 情 提 出 者	要 旨	付託委員会
1 2 5	30. 7. 11	道路遊びの危険性の周知徹底を求める陳情	宮前区 在住者	1 教育委員会及び各学校長は、今一度文部科学省が児童生徒等の交通事故防止について各都道府県教育委員会教育長や各都道府県知事宛てに送付した通達の周知徹底を図り、道路ではなく安全な場所で遊ぶよう児童に指導すること。 2 保護者に対しても周知徹底を図ること。	文教委員会

受理番号	受理年月日	件 名	陳 情 提 出 者	要 旨	付託委員会
126	30. 8. 27	臓器移植の環境整備を 求める意見書の採択を 求める陳情	横浜市都筑区 移植ツーリズムを考える 会	臓器移植の普及によって多くの患者の命が救われている一方、臓器移植ネットワークが構築されていない外国における移植は、臓器売買等の懸念を生じさせ、人権上ゆゆしき問題となっている。 そこで、国際移植学会は、平成20年5月に「各国は、自国民の移植ニーズに足る臓器を自国のドナーによって確保する努力をすべきだ」とする主旨の「臓器取引と移植ツーリズムに関するイスタンブール宣言」を行った。 こうした動きが我が国における平成22年7月の臓器の移植に関する法律の改正につながり、本人の意思が不明な場合であっても家族の承諾により臓器を提供することが可能となった。同法の改正以後、脳死下での臓器提供者は年々増加しているが、臓器提供数は必要数を大きく下回っており、その理由としてドナーや臓器提供施設数が少ないことが指摘されている。 よって、臓器移植を国民にとって安全で身近なものとして定着させるため、早急な対策が必要である。貴市議会から国へ、臓器移植の環境整備を求める意見書を提出してください。	健康福祉 委員会

受理番号	受理年月日	件 名	陳 情 提 出 者	要 旨	付託委員会
1 2 7	30. 9. 3	小児がん等「特別な理由」で予防接種の再接種が必要な子どもに対する再接種費用と「抗体測定検査」の助成に関する陳情	多摩区 在住者 ほか 1,120名	小児がん等の治療である、化学療法や移植を受けたことにより幼少期に受けた予防接種の抗体を失った子どもたちの予防接種の再接種に掛かる費用の助成、及び対象年齢時に闘病中のため、公費で予防接種が受けられなかった子どもたちへの接種費用等の助成と、それぞれの「抗体測定検査」費用の助成を求めます。	健康福祉 委員会